No. 140　2016年12月

博物館だより

冬の博物館

1月14日(土)・15日(日)

1月7日から受け付けスタート！

寒い冬も 博物館で 化石を楽しもう

★雪中化石探検
★ミニ発掘ペンダントづくり
★足寄の春の鳥（室内で短いおはなし）

雪中化石探検

雪の中から化石やクリスタルがはいった
カプセルを発掘

ペンダントづくり

雪中化石探検でみつけた化石をつかった
ペンダントづくり

日時：1月14日（土）、15日（日）

時間：午前の部10：00～11：30
　　午後の部14：00～15：30
　　（全部で４回おこないます）

費用：500円

申込：博物館まで電話で申し込み（1月7日～）

人数：各回先着10名
　　【小学3年生以下は保護者が同伴してください】

※　参加者と保護者の入館は無料です。

あしバスにのろう

停留所「動物化石博物館前」は
博物館駐車場のすぐ前にあります。　発着時刻は
　９：０２
　１０：５７
　１３：２２
　１５：１７
　１７：１２　　です。
平日・土曜日に運行します。

※１４日に限り、あしバス利用者は
開館時間外も入館・在館できます。

足寄動物化石博物館 フォストリーあしょろ
指定管理者　NPO法人　あしょろの化石と自然
〒089-3727　北海道足寄町郊南１丁目　TEL 0156-25-9100　FAX 0156-25-9101
staff@museum.ashoro.hokkaido.jp　http://www.museum.ashoro.hokkaido.jp　（博物館だよりpdf版あり）

No. 140
2016年12月 7日発行
（年4回発行）

アショロア発見から40年の年に

7月末～8月はじめ、木村学博士と犬塚則久博士を招いて、「アショロア発見40年」の記念行事を催しました。アショロアの発見者である木村さんは今年3月に東京大学を定年退職されました。発見当時は北海道大学の院生でしたから、人の一生のおもな部分が経過したことになります。

足寄博物館もそれなりの時間を背負っています。前身の化石作業所開設から32年、ふるさと創生事業による博物館構想から25年、開館から18年となりました。復元骨格組立を主目標にした時代から、骨の内部構造を調べたり、化石残った脂肪を分析したり、というように近代的な方法による研究に移ってきました。これからは、分析で得た結果を加えて総合し、古生物を復元するという研究が中心になります。

今年、デスモスチルスの泳いでいる姿を骨格によって復元しました。骨の微細構造の研究や今の動物の骨格を比較して総合的に判断した結果、**デスモスチルス類は陸を歩けない＝海を泳ぐ生活をしていた**、という結論にいたったのです。泳ぎ方の解明はこれからです。組み立てた骨格を仮説として検討をすすめます。

原始的束柱類である足寄産の2体、もっとも特殊化が進んだ（≒典型的な）束柱類であるデスモスチルス。これらが海の中でどんな生活をしていたか。あたらしい束柱類の姿が一目でわかる展示を実現することが「アショロア50年」にむけての課題です。

貸出標本活躍

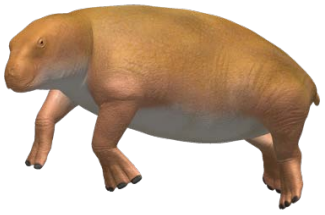
大阪にある水族館「海遊館」で企画展「デスモスチルスがいた地球～謎だらけの古代生物たち～」が開催中。足寄から泳ぐデスモスチルスや海の鳥類プロトプテルムが出張して活躍しています（写真上）

古脊椎動物学会で研究発表

10月25日から30日にかけて、アメリカのソルトレイクシティーで開催された古脊椎動物学会に新村龍也学芸員が参加し、足寄から産出したアショロアやベヘモトプスの化石の中に残る「油」に関する研究を発表しました。

石油が地層の中に含まれているように、骨化石の中にも「油」が含まれています。しかしその中には骨以外から入ってきた「油」もあるかもしれません。今回の研究で、明らかにアショロアやベヘモトプスに由来する「油」が、今ある骨化石の中にちゃんと残っていることがわかり報告しました。

今後、「油」の成分などを詳しく調べて、アショロアやベヘモトプスがなにを食べていたかを解明する研究をすすめます。



アショロア

ベヘモトプス

新春　ミニ発掘　干支（えと）動物展

酉（とり）年のミニ発掘

鷹目石（たかめいし）

一か月間、高確率でゲットのチャンス!

来年は酉年です！それにちなんでミニ発掘に、ミニミニ「鷹目石 Hawk's　Eye　ホークスアイ」を加えます。いわば黒い虎目石！

ミニ発掘：1つ200円（何が出るかは掘ってのお楽しみ）
期　　間：2017年1月7日から
（1月は通常よりも高い確率で鷹目石が出ます。）

干支動物展

好例の「干支動物展」もおこないます。
動物としてのトリは人間に飼い慣らされ「家禽」として私たちの生活になくてはならない存在です。しかし、そのトリも近年では恐竜の生き残りとして、以前とは違った見方がされるようになりました。
えっ恐竜？？　その謎解きは、骨を見れば解決します。どんなトリが登場するか・・・お楽しみに。

ちなみに、左の写真は・・・なに？

1月7日（土）～30日（月）
博物館ロビー

行事報告

足寄の化石４０年

７月８月に木村学博士と犬塚則久博士にそれぞれ講演していただきました。
帯広と足寄で２回ずつ、計４回行いの講演を行いました。
参加：145名

バロックコンサート

９月１０日に、今年で８回目となるバロックコンサートを行いました。
参加：７１名

ナイトミュージアム

１０月２２日に、暗い館内を探検して回るナイトミュージアムを行いました。
新登場の大きなミニ発掘（直径２０ｃｍ）が好評でした
参加：８１名

新種「古生物模型づくり」!!　先行提供

町内の幼児・小中学生限定　先行提供

日時：1月7日（土）～9日（月）

時間：開館時間中（9：30～16：30）

参加：無料

注　：●型が５個しかないため、一度に５人までしか作れません。
●足寄町在住の保護者の方は、町民研修利用で無料入館できます。
●4月から一般の方も400円で作れるようになります。

古生物模型づくりって??

ティラノサウルス生体頭部

ティラノサウルス頭蓋

デスモスチルス

アショロカズハヒゲクジラ

ナウマンゾウ

スミロドン

セントロサウルス

ランベオサウルス

「古生物模型づくり」では、古代生物の頭骨や生きていた当時の姿の縮小模型を石こうで作ることができます。
現在８種類ですが、4月からこれらに「アンモナイトの生態復元」も加わります！

予告　3月2日～20日

ちょうちょ展

帯広百年記念館移動展

十勝に生息するチョウの標本とその生態を紹介します。
阿部宏さんが収集した足寄のチョウ・ガの標本も公開します。ぜひご覧ください。

足寄動物化石博物館の利用について

○開館時間　午前９時３０分～午後４時３０分（入館締め切り時刻）

○休　　館　毎週火曜日（祭日の場合は開館し、翌日またはその後の平日）
年末（12月30日から）・年始（1月６日まで）
※「海の日」から8月末までは、全日開館します。

○料　　金　一般　400円、　小中高・65歳以上　200円
幼児は無料。　足寄町内の小中学生は無料。
※館の主催事業の際は、無料にすることがあり、その都度お知らせします。

「アショロア発見から40年」が終わろうとしています。記念行事はやや地味でしたが、考えさせられることの多い年でした。　編集が終わったら、ミニ発掘の仕入れだ・・・。